

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価(小野町)

①事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業						
事業の概要	⑧事業年度	平成21年度		⑨事業完了日	平成23年1月20日			
	⑩総事業費	84,767千円		⑪補助対象事業費	84,767千円			
				⑫交付金額	28,255千円			
	⑬整備対象地域	浮金地区、吉野辺地区の全域、小戸神地区、飯豊地区の一部						
	⑭条件不利地域	辺地：雁股田、湯沢、塩庭、上羽出庭 山村：夏井、南田原井、湯沢、塩庭、上羽出庭、和名田地区						
	⑮事業の内容							
<p>小野町の中心市街地については、民間事業者によるFTTHサービスが提供されていたが、その他の地域についてはFTTHサービスが提供されておらず、一部がADSL等のサービスエリアとなっていたものの、局舎により遠距離であるため、低速な通信速度しか確保できない状況となっていた。このためインターネットをはじめとする高速通信網の範囲外で情報格差が広がってしまっていた。地域住民からも高速通信体系の整備を強く要望されているが、採算性の問題から浮金地区、吉野辺地区の全域、小戸神地区、飯豊地区の一部においては、民間事業者の参入が困難な状況となっている。</p> <p>当該事業は、町民だれもが情報通信技術の恩恵を受けられる都市部と変わらない情報環境の整備を進めることで、情報格差の解消を図り、暮らしやすい住環境の整備と情報通信技術を利用した住民との協働によるまちづくりを目指すことを目的として行ったものである。これにより、インターネット環境等を利用できる基盤を整備し、地域住民の福祉向上と地域活性化施策を講じたものである。</p> <p>当町では少子高齢化が進んでおり、光ファイバー網の整備により地域特産物の効果的なPRや教育分野での活用、テレビ電話等を活用した高齢者の安否確認、遠隔医療システムなどの活用が可能となり、安全安心で住みやすい地域づくりへ多大な効果が期待できるものである。</p>								
BB	⑯サービス開始日	平成23年2月1日						
	⑰サービス形態	公設民営(IRU)						
	⑱契約先	東日本電信電話株式会社						
		⑲整備計画時の目標		⑳実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	580	580	589	585	590	604	609
	加入世帯数	120	250	229	254	219	298	219
加入率(%)	20.7	43.1	38.9	43.4	37.1	49.3	36.0	
㉒評価及び課題	<p>加入世帯数については整備計画時目標250に対して、平成27年度末現在で219となっており、加入率については当初目標の約88%を達成している。しかし、平成27年度末現在での整備地域の世帯数に対しての加入率では、世帯数609に対して加入率36%となっており、当初目標の43%を下回っている。</p> <p>当町の課題でもある少子高齢化が、加入率が伸び悩んでいる原因と考えられる。整備地域においても高齢者のみの世帯が増えており、インターネット等を使用する方が減少していることが考えられる。</p>							